

防災とは、災害を防止することです。市や、自治会で年に数回の訓練をすることは、組織的に実践活動を行い、地域住民に知つてもらうことです。つまり、非常発生事故を事前に阻止することを、常日頃から心に持つよう啓蒙することです。

しかし、病人や隣人・老人等は、家族や隣人の協力が必要とされます。自宅附近の避難場所は知つておくことが大切です。香川小学校が広域避難地ですが、各町内にも避難場所があります。食糧や飲料水その他必要品は、スリーハンドレット・ゴルフ場で支給されます。

なお、防災役員等、今回の広報かがわの四面にあります。氏名、住所は会員名簿の五十

防災とは、災害を防止することです。市や、自治会で年に数回の訓練をすることは、組織的に実践活動を行い、地域住民に知つてもらうことです。つまり、非常発生事故を事前に阻止することを、常日頃から心に持つよう啓蒙することです。

しかし、病人や隣人・老人等は、家族や隣人の協力が必要とされます。自宅附近の避難場所は知つておくことが大切です。香川小学校が広域避難地ですが、各町内にも避難場所があります。食糧や飲料水その他必要品は、スリーハンドレット・ゴルフ場で支給されます。

(香川自治会長)
熊沢 幸一

あいさつ

防災本部長

(香川自治会長)

熊沢 幸一

消防班長

(消防委員長)

阿諱 訪

徹



365日が防災の日

頁に掲載されており、近くの役員を知つておくことが肝要です。
十一月九日(日)午前九時から防災訓練を第一青少年広場で行ないますので奮つてご参加ください。自己防衛のためです。



香川消防委員会は、茅ヶ崎市消防団第十六分団と申します。出動する場合は、茅ヶ崎市内を練り歩き、老若男女もこの日は夏の疲れを癒し、日頃のストレス解消に役立っています。ここ十五年程は、神社の幟(のぼり)を建てなかつたが、亀井工務店の好意で幟の先端の修理ができる、茅ヶ崎市内にも類のない神社の宝とされている幟(のぼり)です。

季節となりますが、会員の皆様には、初期消火の重要性を認識して、お互いの協力で被害を出さないよう心掛けて下さい。現在香川地区内には、街頭消火器が三十数ヶ所に設置されています。使い方のわからない方には、説明に行きますので、連絡して下さい。

市、自治会、消防署等では、消火器の訪問販売及び詰替えはしております。御注意下さい。年に一回、消防委員会が行う販売及び詰替えだけです。

広報 かがわ

第88号

編集発行

香川自治会
広報委員会
興版印刷所

香川の人口
9,444人
男4,744人
女4,700人
香川の世帯数
2,794
(61.8.1現在)

文化厚生活活動

委員長 熊沢 政吉



イ.『老人のつどい』
場所 柳島記念会館
日時 十月二十六日(日)
ロ.『第五回文化祭』
場所 自治会館及び第一
第二青少年広場
日時 十一月一日・三日



例大祭

広報 斎藤



七月二十七日は香川の諏訪神社の例大祭である。七月の夏は、浜降祭・例大祭と夏を満喫させてくれる。十年前より香川にもお輿が出来て、町内を練り歩き、老若男女もこの日は夏の疲れを癒し、日頃のストレス解消に役立っている。

ここ十五年程は、神社の幟(のぼり)を建てなかつたが、亀井工務店の好意で幟の先端の修理ができる、茅ヶ崎市内にも類のない神社の宝とされている幟(のぼり)です。

なお、幟(のぼり)の下部の彫刻の飾りつけは、一对の木彫であり、神社の宝物であり、これ程の彫刻のついた幟(のぼり)は、茅ヶ崎市中にもなく、見事なものである。

が立つことになりました。祭の前日、神社の崇敬者により幟(のぼり)立ては威勢よく始まり経験者の指導のもと無事立て終わった。

この幟(のぼり)は、明治時代の日本的一人、西川元讓氏(号春洞)の書かれたもので『赫(か)々(せ)正直に福(ふく)す』と二本の幟(のぼり)に書かれており、それを誅(わら)し』『鴻恩(こうおん)正直(せいぢゆく)に福(ふく)す』



警戒宣言が発令されたら！

その時家庭では



地震のミニ知識

マグニチュードと地震

一月二十二日(木)前方町
り香川自治会は柳島記念会館
で昨年と同様『敬老のつど
い』を行います。

二十六日(日)午前九時ヒ
自治会は柳島記念会館

關東大震災

に思う

地震・雷・火事・おやじが恐ろしいものの代名詞と子供心に覚えていたが、遂にやつてきました。一九二三年（大

た。そこにはまだ三mもの高さに黒焦げの人骨が積まれ、香花が供えられ、その惨状に驚いたものです。

がおぞいました。祖父母と奥座敷にいたら、数秒の内に上下動を伴う烈震が、百年もたつた萱葺の家をゆり動かし、大壁が落ちてくる始末、恐怖におののき、祖父母と外に飛び出した。庭先の大樹も狂った生きものの様に動き、掘まることもできない程です。外の父母が「こつちへこい」と呼ぶので、よろめきながら隣家の竹藪の中へ避難しました。その場所に近い土蔵が砂煙りをあげて倒壊しました。三日ほど竹藪の中で生活、老人は万事の体験者で「第一震後の余震は決して大きくない」と教えていました。しかし強弱の地震は夜になつても絶え間なく続き、田畑は波を打つているようでとてもリアルに表現できません。一ヶ月余り学校は休校で大人は復旧に忙しく子供心にも虚脱感が一ぱいでした。一ヶ月近くも、第三国人が来襲するとか、井戸に

九月一日に「防災の日」を迎え、一番大事なことは「正しい情報をつかむこと」であります。地震は必ず一定時間でやみます。冷静沈着に判断し、防災訓練での基本知識を活かして、機敏に事を始末し、近隣で助け合うことが大切だと深く感じました。

薬物を投入されたとかのデータが流れたりしました。

崩壊した馬入川鉄橋

去る八月五日、香川自治会役員は、四日到来した台風被害視察を行ないました。香川地域住民も風力よりも水力に驚かされたことで、床下浸水の脅威と道路に水嵩が増し交通事情が悪化したことで非常に困られたと思います。

十数ヶ所の水の被害は、分析すると、自然と人災に分けると、最近は人災によるものが多くなりました。水路の草刈りや下水掃除を近隣の組で相談してやつておけば随分と助かるものも多いようでした。自治会サイドとして、U字溝設置のもの、水量計算により土管の取替え、高度の排水施工等もありますので、市当局に陳情等行ない、一日でも早く住みよい香川にするよう努力しますが、みんなの力で出来るものは、定められた清掃日に組長さん方で相談して、実施してくださいるようお願ひします。

台風
10
号



台風10号被害箇所

防災地図

○一防火水槽
 井一防火井戸
 倉一火の見やぐら
 ▲一消防器具置場
 □一広域避難場所
 (スリーハンドレッドクラブ)
 ■一任意避難場所
 (香川小学校)

防作役員所在置
 ○一防災本部長
 (自治会長)
 ●一防災部長
 (町内会長)
 ▲一総務・会計
 ○一班長

